

■ スペクトル化学研究センター教員からのメッセージ

センター長 菅裕明 教授



スペクトル化学研究センターでは、様々な波長の分光装置を用いた研究が展開されています。また、多くの分光装置を共通装置として提供することで、多くの学内外の研究者の研究に役立てて頂ければと願っています。スペクトルセンターの分光装置を用いて、研究のスペクトルがより広がることを期待しています。

岡林潤 准教授



スペクトルを読み解くことから様々な情報を得ることができます。ピーク強度から量が判り、ピーク位置から結合状態などの性質が判り、ピーク幅から結晶性などの単一性を議論できます。新しい物質のスペクトル解析からその物性現象を明確にするために、特に放射光を用いた磁気分光による電子・磁気状態の解明を進めています。スペクトルを測って、考えて、性質を暴き出すのは楽しいものです。

平松光太郎 助教



私達は、可視光の反射、吸収や散乱光を感知することで、常に膨大な情報を得ています。一方で、人間の認知出来ないようなさらに広いエネルギー領域（X線、紫外線、赤外線、マイクロ波）や時間領域（ミリ秒よりも短い時間スケール）で吸収・散乱光のスペクトル解析を行うと、さらに詳細な分子構造や電子状態に関する情報を得ることができます。私たちは、スペクトル測定や解析のための新しい手法を編み出し、それによって、観ることの出来る対象を拡げる事を目指して研究を進めています。

■ 所在地

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学理学部化学館



スペクトル化学研究センターのHP

東大 スペクトル